

『近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰(優秀賞)』の受賞について

2021年9月16日

株式会社フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:楠瀬 俊一)及び株式会社エスエーエス(略称:SAS、本社:静岡県牧之原市、代表取締役社長:須川 鐵朗)、株式会社 MHI エアロスペースプロダクション(略称:MAP、本社:愛知県名古屋市、取締役社長:天野 彰二)の3社は、令和3年度の『近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰(優秀賞)』を受賞しました。

この賞は、『高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律』に基づき、バリアフリー化の推進について優れた取り組みを行っている個人または団体を、近畿運輸局が府・県・事業者団体等の推薦を受けて選考し、表彰するものです。

2019年12月、FDA および上記2社は、ボーディングブリッジのない駐機場において、航空機に搭乗及び降機する際に使用する階段(ステップ)がついた専用車両に、車椅子のお客さまでも安心してご利用いただけるようエレベーター機能を付加した『車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車』を共同開発、名古屋(小牧)空港や熊本空港、神戸空港に順次導入しております。

同車両の導入により、車椅子のお客さまの恐怖心や不安を解消できる点や、エレベーターの使用中でも他のお客さまの階段での昇降が可能ですべてのお客さまの利便性向上に繋がる点などが、高い評価を頂きました。

FDA はこれからも地域と地域を結ぶ航空会社として、お客さまに優しいバリアフリー化を推進し、さらなるサービス向上に努めてまいります。



【車椅子対応エレベーター付パッセンジャーステップ車 概要】

- ・ 主要諸元
 - 全長：8,020 mm
 - 全幅：3,385 mm
 - 全高：5,500 mm
- ・ 駆動部仕様
 - 動力用モーター出力：5.5 kw
 - エレベーター仕様：ラックピニオン式
 - エレベーター耐荷重：270 kg (大人×3名 or 大人2名 + 車椅子1名)

地方空港への乗り入れが中心で、ステップ車の使用機会が多いことから、利用者の声を反映すべくエレベーター式を開発し（これまではリフト式が一般的に使用されている）、神戸空港に配置（小牧、熊本に次ぐ3空港目）。初号機からサイズを全長1.3m、全幅30cm縮小し、コンパクト化を実現。また、操作盤をリモート化し、雨よけを大型化し収納可能にするなど、進化させている。

エレベーターの導入により、階段での昇降機利用時に車椅子利用者の恐怖心や不安解消に繋がった。また、エレベーターは、二重ドア式で稼動時は音楽が流れる仕組みになっており、安全性に加え快適性も確保されている。エレベーター使用中に、他の旅客は階段での昇降が可能で、搭乗及び降機が中断されないことから、全ての人の利便性向上になりユニバーサルデザインの概念に一致している。

階段には弱視者対応で色づけがされていたり、階段途中には踊り場スペースが確保されていたり、旅客のペースに合わせた搭乗及び降機が可能。

